

会 議 録

作成日 令和8年9月4日

日	令和8年8月28日(金)	時間	10:00～11:10	場所	糸魚川市役所2階 203・204 会議室
件名	令和8年度 第1回糸魚川市地域自立支援協議会				
出席者	【出席者】 委 員：山田委員、岡尾委員、横澤委員、磯野委員、古海委員、櫻井委員、田村委員、小川委員、渡辺委員 事務局：地域生活支援センターこまくさ 内藤管理者、磯貝相談員 福祉事務所 山岸所長、小林係長、飯田係長、二宮主査 【欠席者】八木委員、野本委員				
	傍聴者定員	— 人		傍聴者数	0 人

会議要旨

進行(事務局)

1 開会

要綱の規定により、委員の半数以上の出席であるため、本会は成立する。

2 福祉事務所長あいさつ

3 報告・協議事項

(1) 今年度の年度取組について

資料No.1により事務局から説明

(委員)・各部会での取組みをもっと広くPR・周知すべきではないか。

・子供療育部会の15項目の検討事項の内容を示してほしい。

・成年後見制度について全体的に必要な性の理解が進んでいないと感じており、もっと自分事として感じてもらえるような情報発信をお願いしたい。

(2) 第7期 糸魚川市ささえあいプランの進捗について

資料No.2により事務局から説明

(委員)・タイトルにプランの評価とあるが、資料には実績数値しか載っておらず、いまほど説明のあった内容を記載してほしい。それと3か年の計画なので、策定するプランには計画期間3年間の推移が分かるよう掲載してほしい。

(3) 第8期糸魚川市ささえあいプランの策定について

資料No.3、資料No.4、資料No.5により事務局から説明

(委員)・資料5について情報量が非常に多く、もう少し整理して理解しやすい資料作成に留意してほしい。

(4) 意見交換・情報交換

(委員)・子も親も高齢化が進んでおり、免許返納した人もいて月1回の定例会も出られなくなった会員もいるので、仲間内で送迎もするが、これまでのように集まって相談することができなくなってきた。

ぐりーんバスケットがなくなって以来、他に手立てがない状況である。

次ページへ⇒

公共交通機関だと、労働雇用契約もバス時間に合わせて設定しないといけないうえ、土日のバスがない地域では土日は働けないということになる。

タクシー券の補助もあるが毎日使えるものではないので、雇用の面でも普段の生活面も含めて、移動手段の確保は重要な課題である。

(事務局) ⇒お出かけパス等の支援策も行っているが、地域によってはバス本数自体が少ないなど、福祉の立場でどうにもならない部分もあるので、地域交通の担当部署とも協議・要望するなどして改善に努めたい。

(委員) アンケート項目に災害時に関する質問もあるが、先日の大雨対応を通じて個別支援計画だけでなく、災害時に実際に動いて支援できる仕組み作りが必要だと痛感したので、次期計画にはそういった点も考慮してほしい。

(事務局) ⇒このような内容でアンケート実施したのが初めてということもあり、ご指摘の部分も含めてどのような形で計画に反映させるのかをよく検討したい。

4 その他 特になし

5 閉 会 次回は11月中に開催予定

以上